

R-18  
成人向け

♂  
ふたなり

♀♀  
百合



# Andromeda A

Andromeda A





# Andromeda

作画：雀

シナリオ：もくず



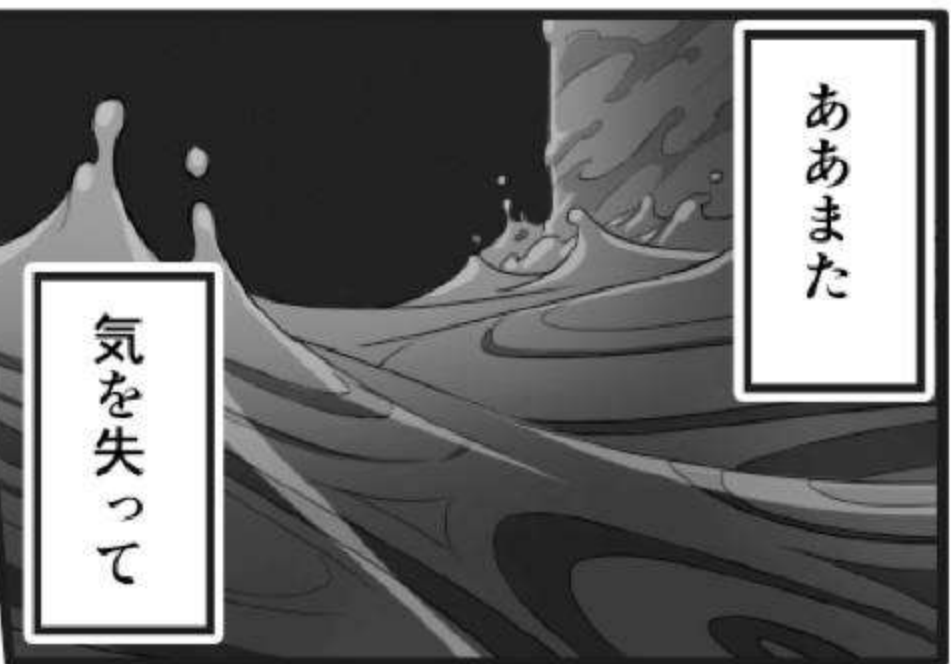
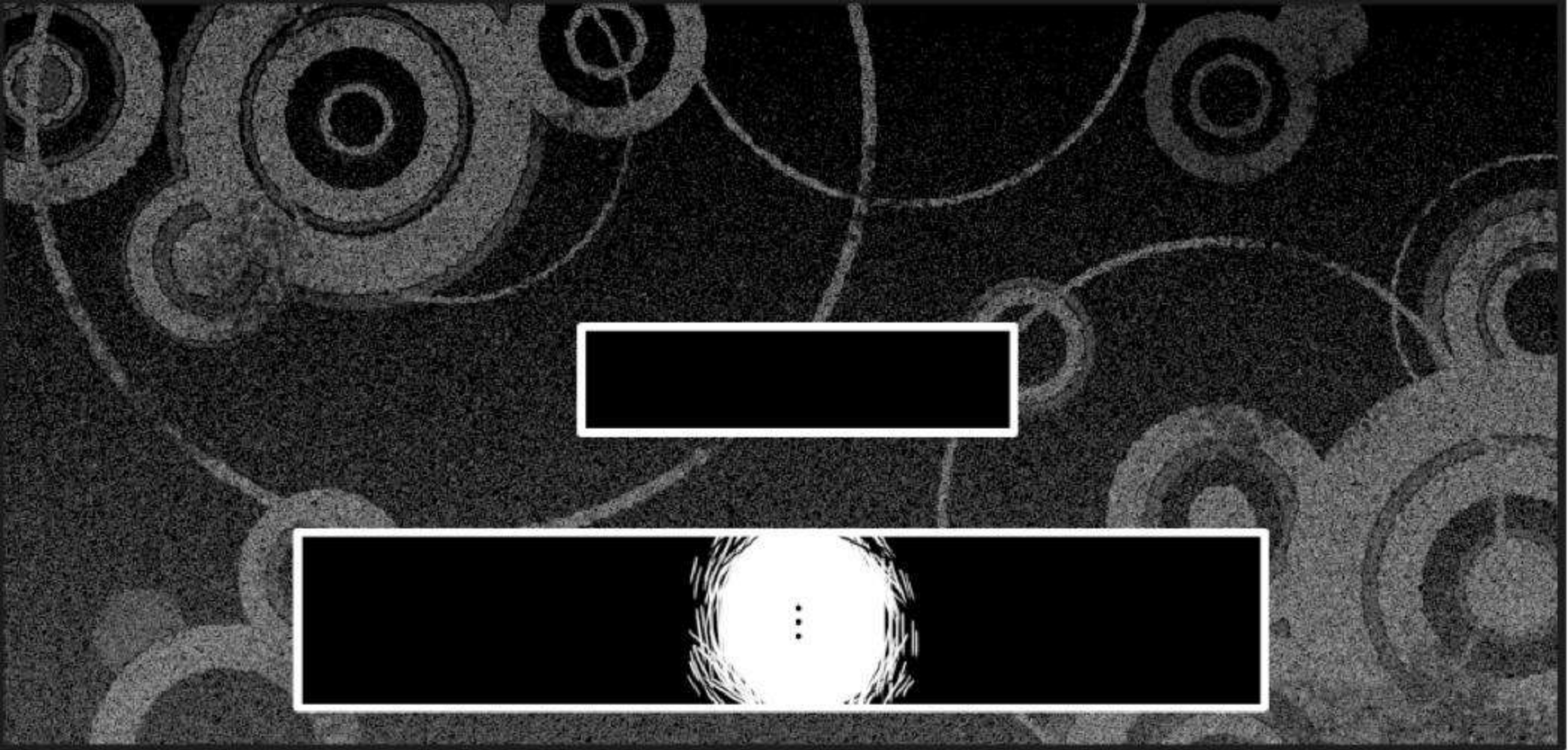
## ※ご注意※

Jaspisのふたなり成人向け漫画です。

『Tentacle dick』と言って触手状の生殖器を  
シェイプシフトで生やしている設定になります。

あくまで個人的な妄想です。

公式とは一切関係がありません。





最悪の気分だわ

# Andromeda

Andromeda

マラカイトに  
なって数ヶ月

よく  
飽きもせず

貪り  
続けられる

あゝ

ぐち...























だめ……っ  
♡

だめ……



どこまでが私で  
どこまでが貴女なのか



拒めば  
拒むほど



彼女が  
入り込んできて



わからなくなる

はっ  
はっ







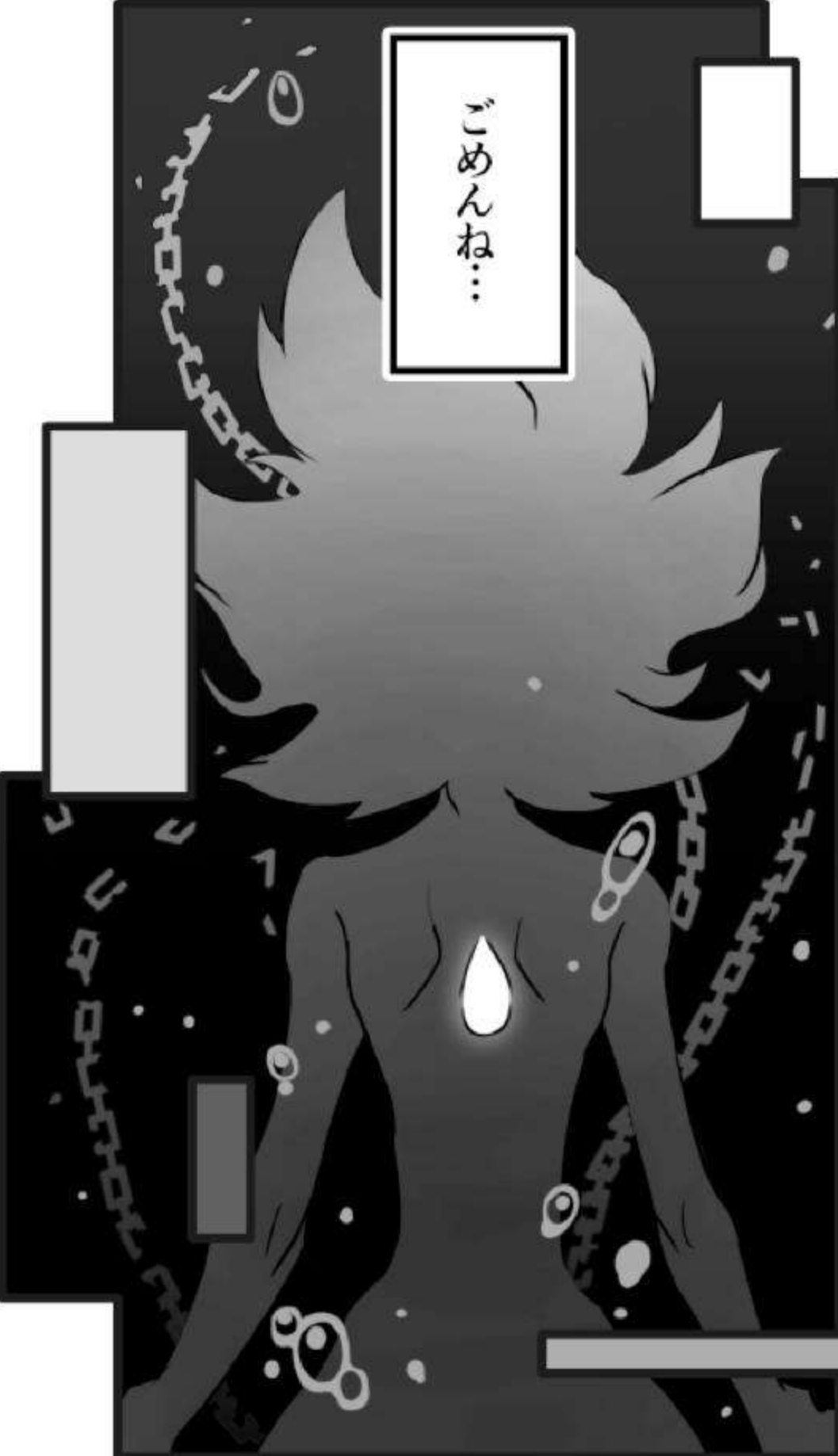


お前は  
私のものだ

ラピス

がっがっ

びっ



ごめんね...



また意識が  
遠のく...

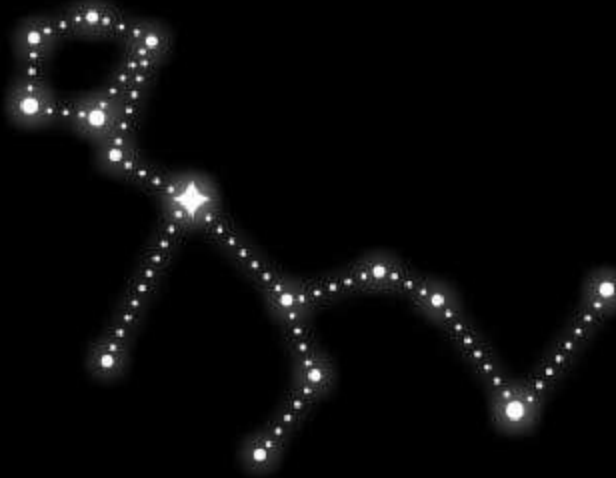
——違う  
私の心は  
もう...



# Cetus



作：もくず









なぜラピスラズリとの合体を解けない。  
なぜだ？

チャンス你不意にする度に、ジャスパーの心は言いよ  
うのないものに侵されていった。  
そしてある日、気づく。  
彼女を貪り喰いたいという欲望に。

◆◆◆◆◆

ジャスパーは、気を失い足元で横たわっているラピ  
スに手を伸ばす。

彼女の肩甲骨の窪みから肋の浮いた背へとなぞるよう  
に指を這わせた。

怪物じみた力を秘めているとは思えない華奢な体躯。

上体を抱き上げ顔を見つめる。

整った顔立ちに美しく伸びる睫。艶やかな唇に上気し  
た頬。薄く浮かびあがった首筋。

見ているだけで猛烈な渴きを覚える。

欲しい。

抑えつけている感情が溢れだし叫びそうになるのを

堪える。

こんな欲望を抱えたまま合体を解くなど出来るわけが  
ない。

まだ足りない。完全な形に溶け合いたい。

ラピスラズリの全てが欲しい。

いっそ喰らい尽くしてしまおうか。

だが、しかし。

無防備なラピスを前にして、内なる自分たちが醜く争  
いを繰り広げ心の均衡を崩そうとする。

耐えるジャスパーの額から、つっと汗が滴った。

その雫はラピスの鎖骨へと伝い、彼女から浮かび上が  
った雫と混じりあう。

瞬間、ジャスパーはラピスの首筋に歯を立てた。

「ッ!？」

ラピスの肢体がびくりと跳ねた。

困惑するラピスをよそに刃を何度も突き立てる。

「な、につ……してるの……!」

ラピスはジャスパーの顔を突き放そうとする。彼女の  
表情は怒りと嫌悪にそして戸惑い。

「こんなことばかりして、あなたの目的は一体なんな



の！」

ジャスパーは答えない。そのまま喰らい続ける。

「自由になりたいのなら、私のジエムを砕けばいい！」  
過去のジャスパーならもっと早くそうしていただろう。しかし、今は違う。

ラピスの後頭部を手で掴み、何度も何度も首筋に唇を押し付ける。

ラピスは理解できないといった表情を浮かべ抵抗を試みる。もう一度、ジャスパーを手で押しつけようとした。

無論、ジャスパーは微動だにしない。それどころか両腕を掴まれてしまう。

「この……、んっ!?」

そして先ほどまで掴んでいた後頭部を離し、今度はラピスの顎を掴んで——舌をねじ込んだ。

「——ッ！ んうっ——ッ!!」

必死に唇を引きはがそうとするラピスを抑えつけ、彼女の柔らかな口内をじっくりと味わう。

唇を貪りながら腰を撫でてやると、強張っていた身体から徐々に力が抜けていく。

最初からそれを求めていたかのように。

あくまでも私を悪役にしなければ気がすまないのだな。狡い奴だ。

唇を離し、ジャスパーはニタリと笑う。

すっかり抵抗しなくなったラピスの表情はとろけきっていた。唇からはだらしなく唾液が糸をひいている。

その瞳の中に微かな欲望が揺れているのを見逃さなかった。

そうか、やはりお前もそうなのか。

直感的に理解する。彼女も私と同じ思いを抱いていると。

だがそれを本人は自覚していない。

私もお前も自身の欲望から目をそむけ、否定するためにお互いを傷つけあったのだ。

だからこんな茶番を繰り返しているのだ。

だがもういい加減、先に進まなければならぬ。

これはジエムとしての本能がより強い力を求めているのだろうか。それとも別のなにかを求めているのか。

お前は知りたくないかラピスラズリ。

この渴きを満たすものの正体を。



ジャスパーはラピスの太腿のさらに奥へと指を潜らせる。

ラピスはもう抵抗しない。まるでジャスパーの指が自分の一部であるかのように受け入れている。

果肉を割り開くと熱い蜜が溢れた。

ジャスパーはラピスを押し倒す。ふたつの影が重なり、ひとつになった。

欲望の答えに気づくまで彼女たちは何度も溶け合い、そして何度でも自分を喰らう。





R-18  
成人向け

♂  
ふたなり

♀  
百合



Andromed A  
Andromed A



